

見てわかる 令和 3 年度 加賀市当初予算のあらまし

目次

はじめに

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. 予算ってなに？ | ・・・1 |
| 2. 令和 3 年度の予算額はいくら？ | ・・・2 |
| 3. 令和 3 年度の一般会計の予算額の内訳は？ | ・・・4 |
| 4. 借金残高はいくら？ | ・・・8 |
| 5. 貯金残高はいくら？ | ・・・9 |
| 6. 市民 1 人あたりではいくら？ | ・・・10 |
| 7. 「家計簿」に例えると？ | ・・・11 |

は じ め に

加賀市では、平成 24 年 4 月から施行している「市民主役条例」の中で、市民が市政の主役となり、市政を推進していくことや、市民一人ひとりに市政に関心を持っていただくとともに、その自発的な活動をサポートすることを目指しています。

このことを踏まえ、市政についてより関心を持っていただくことを目的として、平成 24 年度から、市の予算や借金、貯金をグラフや家計簿などで表した「見てわかる加賀市当初予算のあらまし」を作成しています。

この冊子を通して、市の予算や事業についてご理解をいただければ幸いです。

令和 3 年 4 月

1. 予算ってなに？

◇予算とは？

加賀市に1年間（4月から翌年3月まで）に入ってくる収入を見積もり、その使い道を決めるのが予算です。予算を見れば、1年間にどのような収入を見込み、何に使おうとしているかが分かります。

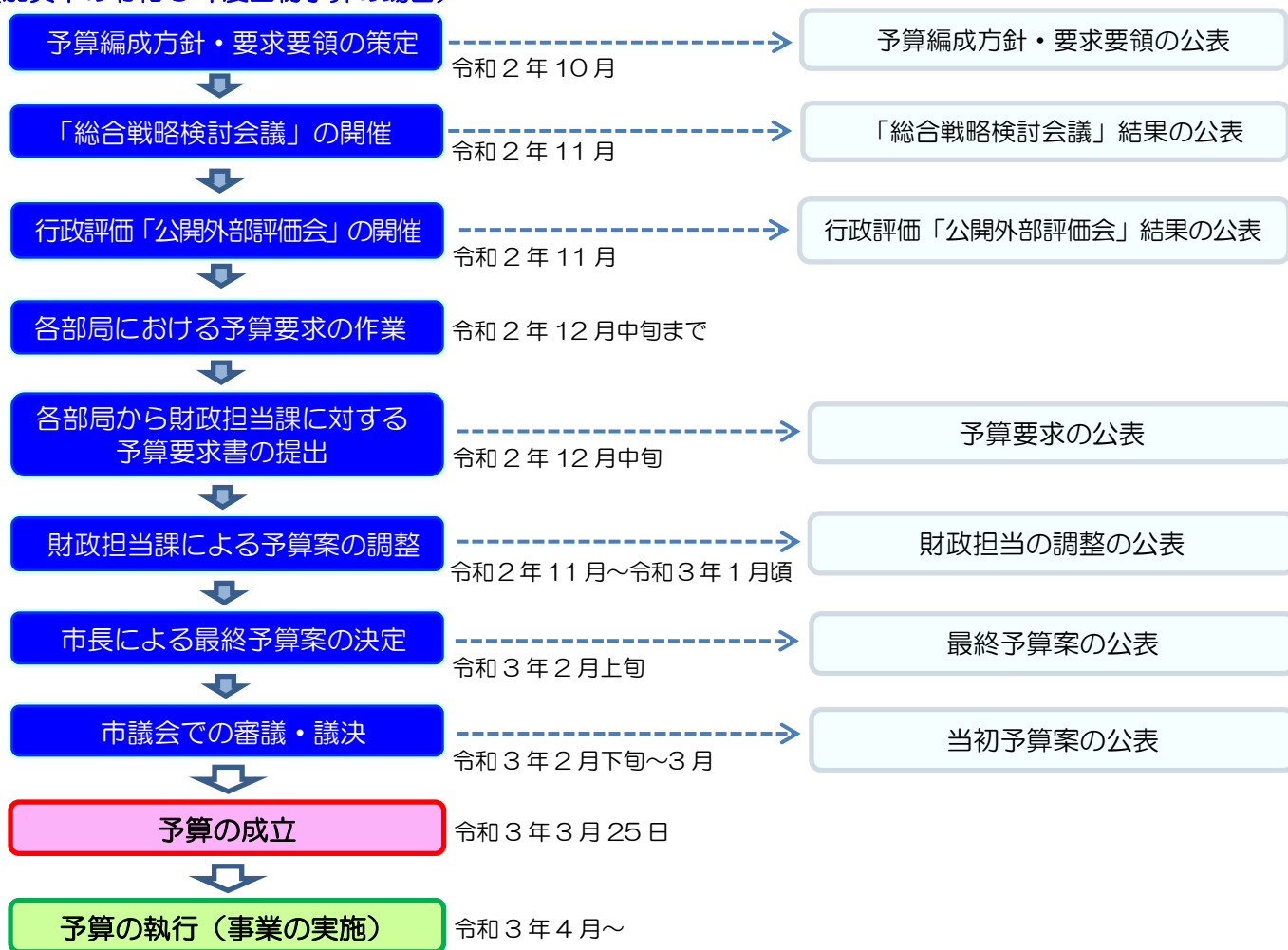
◇予算はどのように決まるの？

予算は次のように、市長が予算案を作り、市議会での審議・議決を経て決まります。

予算編成過程の透明化（見える化）

- ・行政評価における公開外部評価を実施した事業及び総合戦略検討会議で達成度を検証した事業について予算編成過程を公表
- ・公表に併せて市民からの意見を募集

（加賀市の令和3年度当初予算の場合）



◇どのような予算があるの？

予算は、どの収入がどこに使われているのか、収入と支出の関係をはっきりさせるために3つの種類（一般会計、特別会計、企業会計）に区分しています。

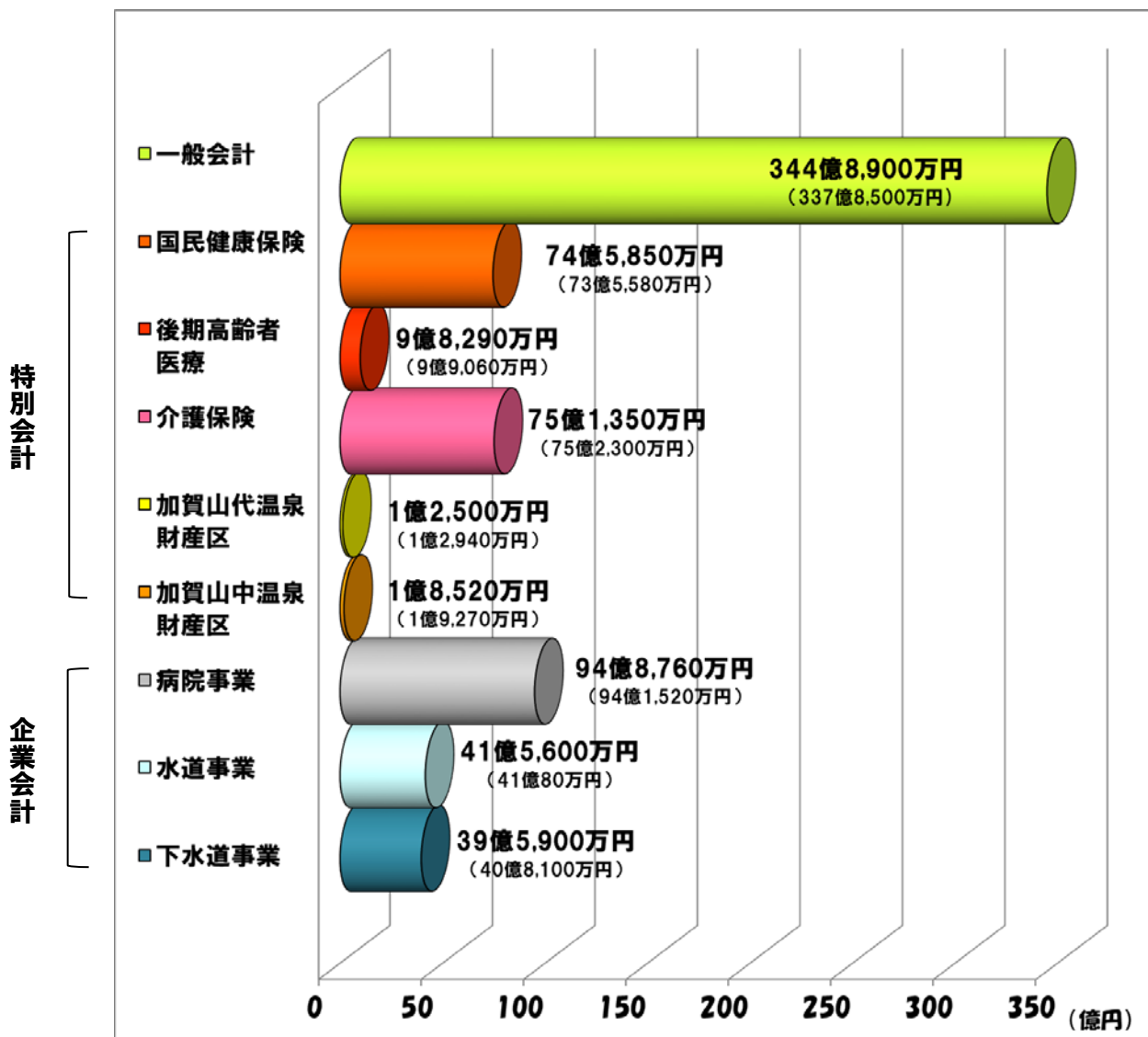
- 一般会計**・・・福祉、教育、環境衛生、道路整備など基本的な行政サービスを行う会計です。
- 特別会計**・・・保険料や使用料など特定の収入によって、特定の事業を行う場合などに設ける会計です。加賀市には現在、次ページに記載した5つの特別会計があります。
- 企業会計**・・・民間企業と同じように事業収益で賄われることを基本とする会計です。加賀市には現在、病院事業、水道事業、下水道事業の3つの企業会計があります。

2. 令和3年度の予算額はいくら？

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策を最優先事項に捉え、市民の健康と暮らしを守り、市内経済の回復・発展を図りながら、従来からの「将来への備え」と「成長戦略」の2つの柱を基本とし、「スマートシティ加賀」の実現に向けた政策を積極的に推進する編成を行いました。

○ 全 会 計	683 億 5,670 万円	(令和2年度 675 億 7,350 万円 伸率+1.2%)
○ 一般会計	344 億 8,900 万円	(令和2年度 337 億 8,500 万円 伸率+2.1%)
○ 特別会計	162 億 6,510 万円	(令和2年度 161 億 9,150 万円 伸率+0.5%)
○ 企業会計	176 億 260 万円	(令和2年度 175 億 9,700 万円 伸率±0.0%)

※ () 内数値は令和2年度当初予算額です。



◇ 令和 2 年度と比較すると予算はどう変わったの？

市の予算額は事業の開始や終了などにより、年度ごとに増減します。

令和 3 年度と令和 2 年度の予算額を比較して、一般会計と大きな変化があった会計について見ていきます。

一般会計

新型コロナウイルス感染症対策を最優先事項に据え、市民の健康と暮らしを守り、市内経済の回復・発展を図りながら、従来からの「将来への備え」と「成長戦略」の 2 つの柱を基本とし、「スマートシティ加賀」の実現に向けた政策を積極的に推進することに加え、加賀温泉駅周辺施設整備事業費の増加等から、7 億 400 万円の増加です。

国民健康保険特別会計

前年度当初予算比で国民健康保険の被保険者数の増加が見込まれることによる保険給付費の増加等により 1 億 270 万円の増加です。

病院事業会計

地域医療連携呼吸器内科学講座への寄附金や企業債償還に係る費用の増加等により 7,240 万円の増加です。

水道事業会計

老朽化した水道管の更新にかかる費用と他会計貸付金の増加等により 5,520 万円の増加です。

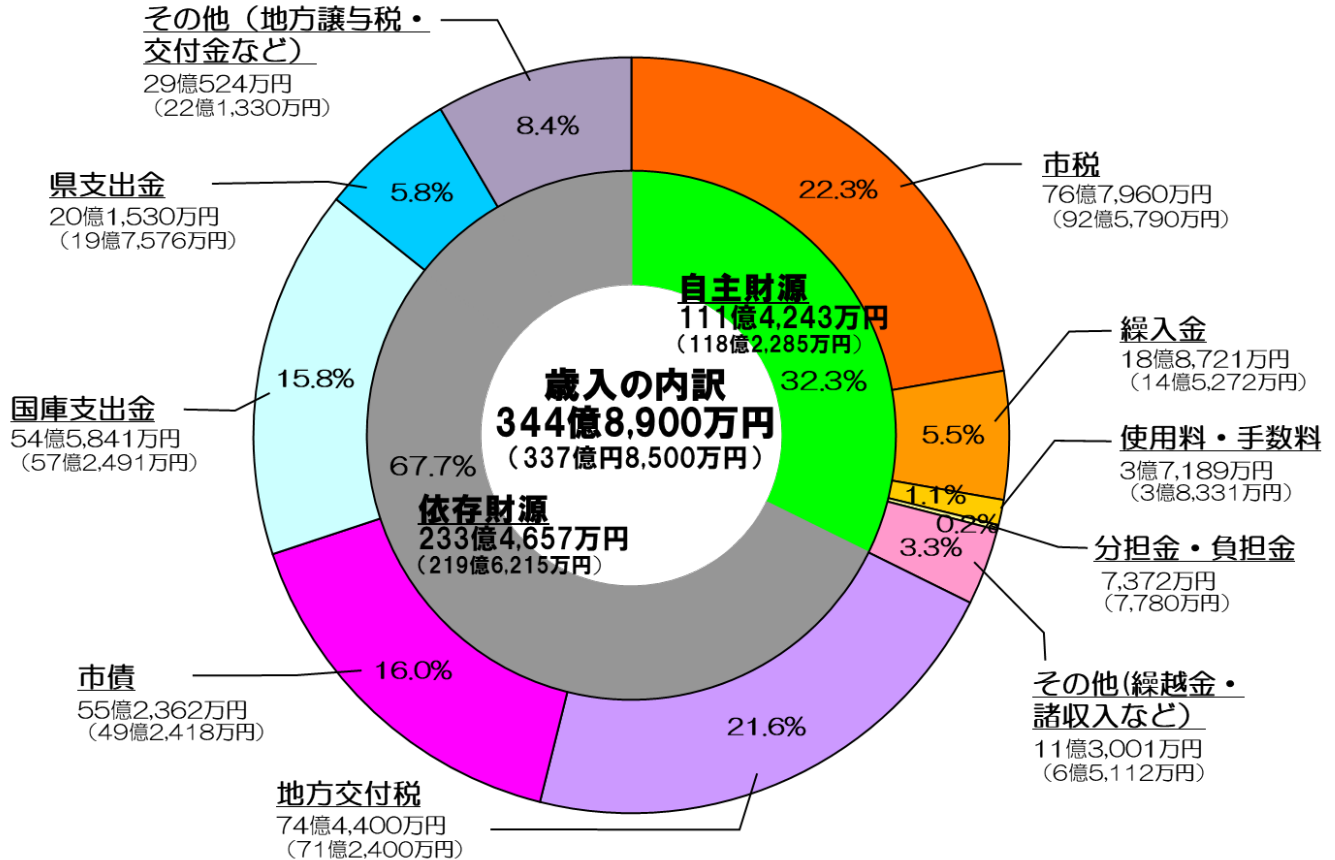
下水道事業会計

流域下水道建設費負担金や企業債償還に係る費用の減少等により 1 億 2,200 万円の減少です。

3. 令和 3 年度の一般会計の予算額の内訳は？

(1) 歳入

◎ 歳入を種類別に区分し、更に自主財源と依存財源に分けて見ると次のようになります。



※ () 内数値は令和 2 年度当初予算額です。

※ 一円未満を四捨五入しているため合計が合わない場合があります。

自主財源 111 億 4,243 万円 (構成比率 32.3%) (令和 2 年度比較伸率 △5.8%)

市が自主的に収入できる財源のことで、市税や負担金、使用料、繰越金などです。この割合が高いほど財政が安定し、自律的な財政運営ができることになります。

令和 2 年度と比較すると、約 6 億 8 千万円の減少です。

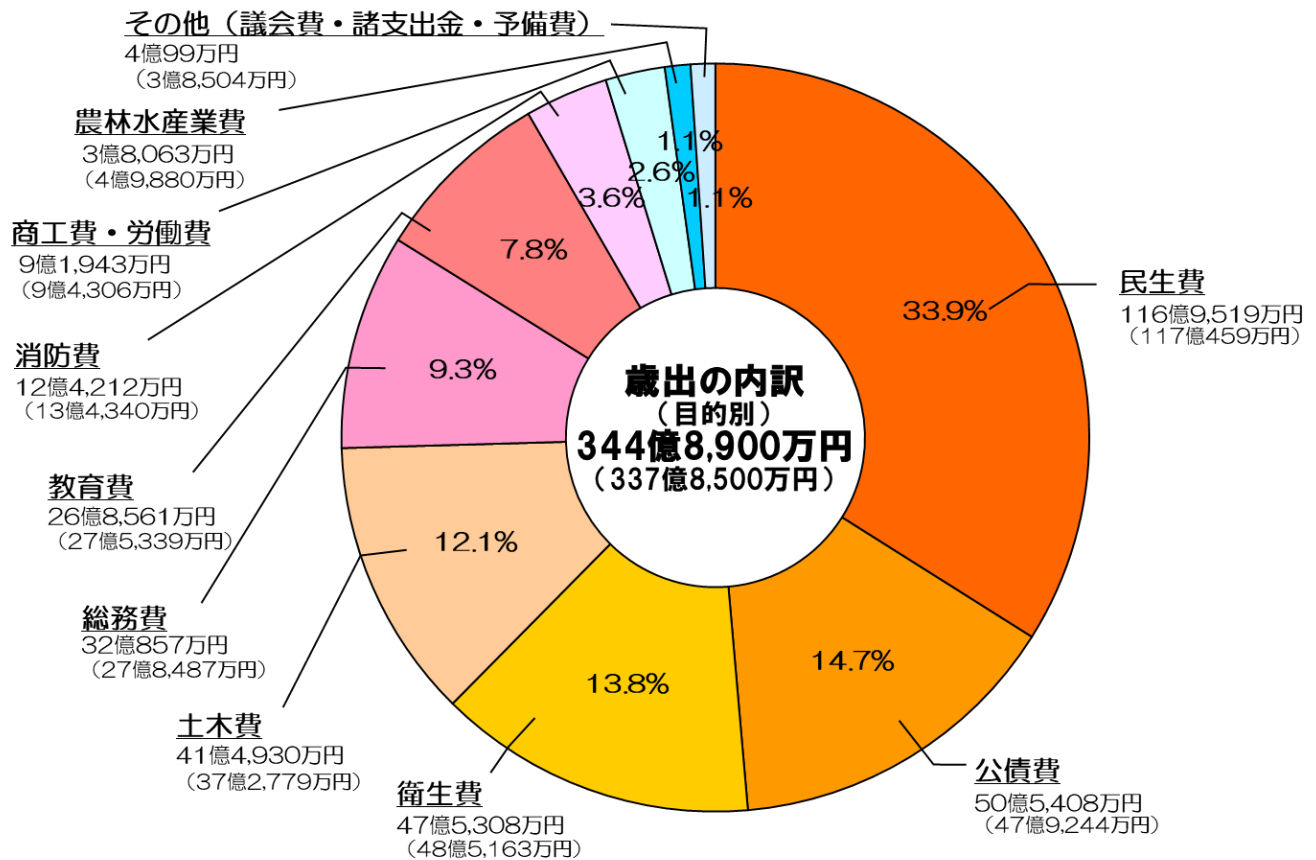
依存財源 233 億 4,657 万円 (構成比率 67.7%) (令和 2 年度比較伸率 +6.3%)

国や県等から交付される財源のことで、国・県支出金、地方交付税、市債などです。

令和 2 年度と比較すると、約 13 億 8 千万円の増加です。

(2) 歳出（目的別予算）

◎ 歳出を行政目的別に区分すると次のようになります。



※（ ）内数値は令和 2 年度当初予算額です。

※ 一千万円未満を四捨五入しているため合計が合わない場合があります。

○ 目的別予算のうち主なもの

民生費 116 億 9,519 万円（構成比率 33.9%）（令和 2 年度比較伸率 △0.1%）

民生費とは、高齢者、障がい者、児童、生活保護などの福祉に要する経費です。

令和 2 年度と比較すると、多子世帯放課後児童クラブ利用助成費の増加等がありますが、医療扶助費やこども医療費助成費の減少等により、全体では約 1 千万円の減少です。

公債費 50 億 5,408 万円（構成比率 14.7%）（令和 2 年度比較伸率 +5.5%）

公債費とは、市の借入金の返済に要する経費です。

令和 2 年度と比較すると、借換債の減少等がありますが、平成 28 年度に起債したほっと石川観光プラン推進ファンド出資の一括償還等により、全体では約 2 億 6 千万円の増加です。

衛生費 47 億 5,308 万円（構成比率 13.8%）（令和 2 年度比較伸率 △2.0%）

衛生費とは、健康診断や予防接種、ごみ処理、病院事業会計への繰出しなどに要する経費です。

令和 2 年度と比較すると、加賀市医療センター出資金やテレビ放送共同受信施設更新工事費の増加等がありますが、加賀ごみ処理施設・リサイクルプラザ基幹的設備改良事業費の減少等により、約 1 億円の減少です。

土木費 41 億 4,930 万円（構成比率 12.1%）（令和 2 年度比較伸率 +11.3%）

土木費とは、都市計画の策定、道路、河川、公園の整備や維持管理などに要する経費です。

令和 2 年度と比較すると、柴山潟周辺整備事業費の減少等がありますが、橋梁長寿命化対策費や北陸新幹線加賀温泉駅周辺施設整備事業費の増加等により、全体では約 4 億 2 千万円の増加です。

総務費 32 億 857 万円（構成比率 9.3%）（令和 2 年度比較伸率 +15.2%）

総務費とは、まちづくりの推進、公共交通、電算システムの運用などに要する経費です。

令和 2 年度と比較すると、職員退職手当費の減少等がありますが、選挙費（衆議院議員選挙、県知事選挙、市長選挙、市議会議員選挙）や橋立地区会館大規模改修事業費、旧山中温泉支所庁舎解体・駐車場整備費の皆増等により、全体では約 4 億 2 千万円の増加です。

教育費 26 億 8,561 万円（構成比率 7.8%）（令和 2 年度比較伸率 △2.5%）

教育費とは、学校教育、生涯学習、スポーツ振興、文化振興などに要する経費です。

令和 2 年度と比較すると、多子世帯等児童生徒給食助成費の増加等がありますが、陸上競技場整備費や北前船の里資料館整備事業費の皆減等により、全体では約 7 千万円の減少です。

消防費 12 億 4,212 万円（構成比率 3.6%）（令和 2 年度比較伸率 △7.5%）

消防費とは、消防や防災対策に要する経費です。

令和 2 年度と比較すると、はしご車分解整備事業費（オーバーホール）の増加等がありますが、救急自動車整備事業費や防災情報伝達システム整備費の減少等により、全体では約 1 億円の減少です。

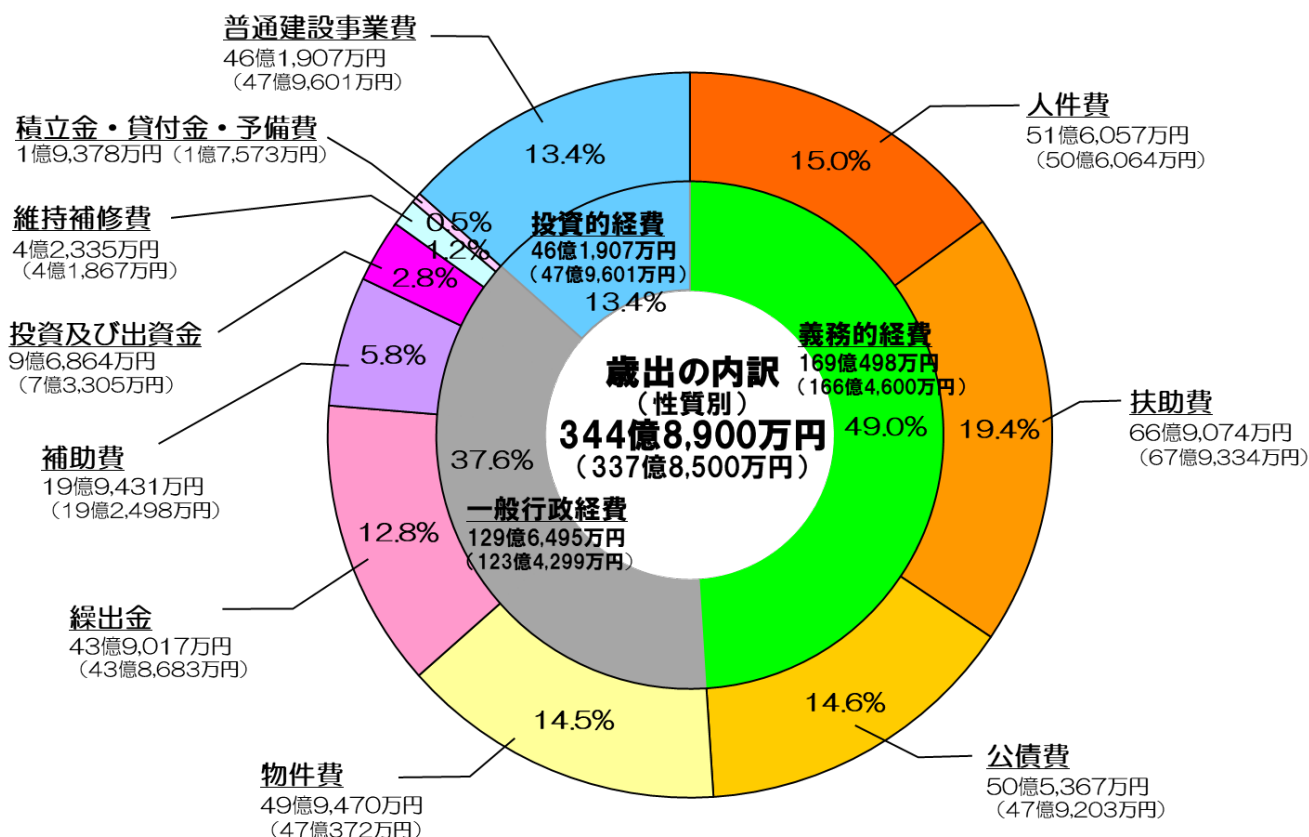
商工費・労働費 9 億 1,943 万円（構成比率 2.6%）（令和 2 年度比較伸率 △2.5%）

商工費・労働費とは、商工業や観光振興、労働福祉に要する経費です。

令和 2 年度と比較すると、ゆけむり健康村管理費の増加等がありますが、インバウンド推進費の減少等により、全体では約 2 千万円の減少です。

(3) 歳出（性質別予算）

◎ 歳出を経済的な機能や性質から見た性質別経費として区分し、更に義務的経費、一般行政経費、投資的経費に分けて見ると次のようになります。



※ () 内数値は令和2年度当初予算額です。

※ 一万円未満を四捨五入しているため合計が合わない場合があります。

義務的経費 169 億 498 万円（構成比率 49.0%）（令和2年度比較伸率 +1.6%）

義務的経費とは、法令の規定や経費の性質上、支出が義務づけられている経費であり、任意に削減できないものです。具体的には、児童・高齢者・生活保護者などの生活支援にかかる扶助費、市職員給与などの人件費、市の借金を返済するための公債費のことで、この割合が低いほど建設事業やほかの様々なサービスに多くお金を使えることになります。

令和2年度と比較すると、全体では約2億6千万円の増加です。

一般行政経費 129 億 6,495 万円（構成比率 37.6%）（令和2年度比較伸率 +5.0%）

一般行政経費とは、施設の管理費などの物件費、各種団体への負担金・補助金などの補助費等、施設の維持補修費や、特別会計への繰出金等のことです。

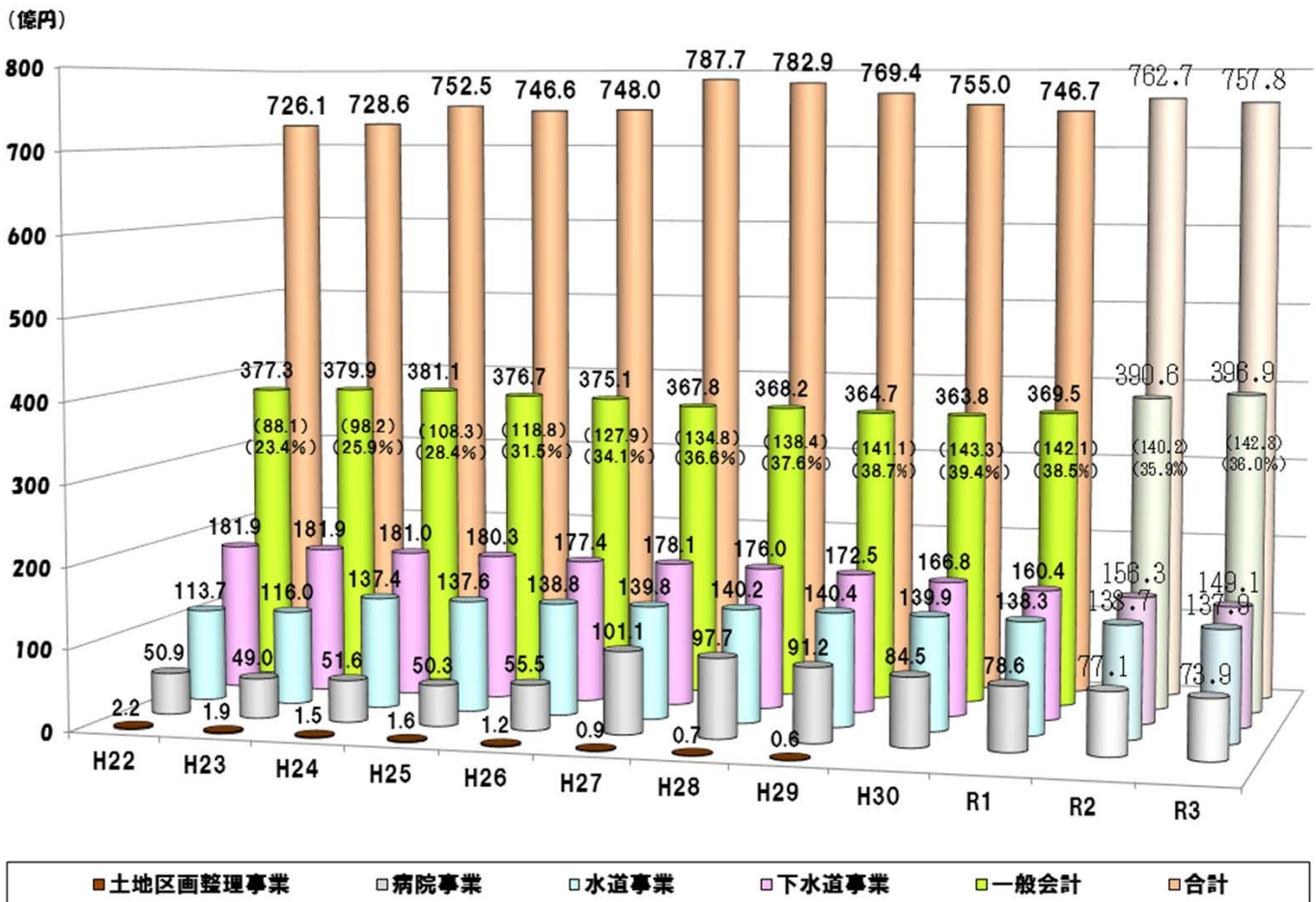
令和2年度と比較すると、全体では約6億2千万円の増加です。

投資的経費 46 億 1,907 万円（構成比率 13.4%）（令和2年度比較伸率 △3.7%）

投資的経費とは、その支出が社会資本形成に向けられるものです。具体的には、道路や公共施設の整備等の普通建設事業のほか、災害復旧事業に充てられる費用のことを指します。

令和2年度と比較すると、約1億8千万円の減少です。

4. 借金残高はいくら？



※ R1 までは決算、R2・R3 は予算に基づく見込みです。

※ () 内数値は臨時財政対策債の残高及び一般会計残高に占める割合です。

※ 土地区画整理事業特別会計は平成 30 年度末で廃止しました。

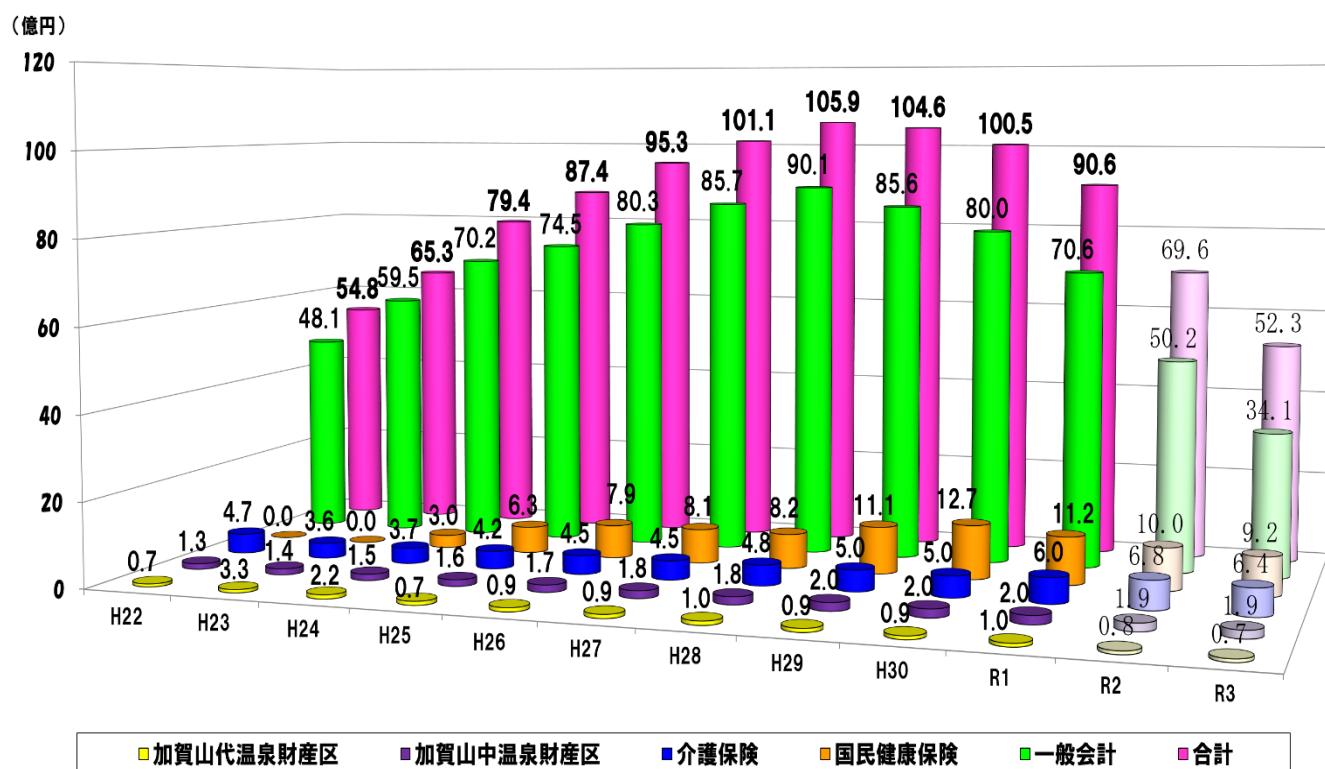
市の借金は、市債といいます。

加賀市では、一般会計、病院事業会計、水道事業会計、下水道事業会計の計 4 つの会計で市債を発行しています。

全会計を合計した市債残高は、平成 17 年度の合併以降、平成 20 年度までは減少しましたが、平成 21 年度以降は増加傾向にあります。増加の主な理由としては、一般会計で、国の経済対策に伴い、小中学校や環境美化センター等の耐震改修事業を行ったことや、地方交付税の代替財源であって、後年度の返済額の全額が交付税措置される臨時財政対策債を借り入れていること、また、病院事業会計で加賀市医療センターの建設を行ったことが挙げられます。

令和 3 年度は、臨時財政対策債の増加等により一般会計の市債残高は増加する見込みですが、水道事業会計及び下水道事業会計において、市債償還が進むことにより全会計を合計した市債残高は減少する見込みです。

5. 貯金残高はいくら？



※ R1 までは決算、R2・R3 は予算に基づく見込みです。

市の貯金は、基金といいます。

加賀市では、一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、加賀山代温泉財産区特別会計、加賀山中温泉財産区特別会計の計 5 つの会計で基金を積立っています。

全会計を合計した基金残高は、平成 17 年度の合併以降、平成 28 年度までは増加傾向にありましたが、平成 29 年度以降、一般会計において災害対応及び年度間の財源調整として財政調整基金の取崩しや退職手当基金の取崩しを行ったことなどにより基金残高は減少しています。

令和 2 年度及び令和 3 年度は、新型コロナウイルス対策、先送りの出来ない事業の予算措置などに伴う一般会計の収支不足に対する財政調整基金の取崩しや、加賀ごみ処理施設・リサイクルプラザ基幹的設備改良事業への環境美化センター施設整備基金の取崩し、地方創生推進交付金事業へ活用するための重点事業推進基金の取崩しを行いました。また、各年度財政負担の平準化のため、まちづくり振興基金、減債基金などの取崩しを行いました。

6. 市民1人あたりではいくら？

○一般会計の予算を市民1人あたりに換算すると、約53万円になります。

予算の使いみち	令和3年度予算		市民1人あたりの予算（※2）
民生費 （高齢者、障がい者、児童、生活保護のために） 	116億9,519万円	33.9%	17万9,113円 （17万6,460円）
公債費 （市の借入金の返済のために） 	50億5,408万円	14.7%	7万7,404円 （7万2,251円）
衛生費 （健康診断や予防接種、ごみ処理等のために） 	47億5,308万円	13.8%	7万2,794円 （7万3,144円）
土木費 （都市計画の策定、道路、河川、公園等の整備のために） 	41億4,930万円	12.1%	6万3,547円 （5万6,201円）
総務費 （まちづくりの推進、公共交通、電算システム等のために） 	32億857万円	9.3%	4万9,140円 （4万1,985円）
教育費 （学校教育、生涯学習、スポーツ振興、文化振興等のために） 	26億8,561万円	7.8%	4万1,130円 （4万1,510円）
消防費 （消防、防災対策のために） 	12億4,212万円	3.6%	1万9,023円 （2万253円）
商工費・労働費 （商工業、観光振興、労働福祉のために） 	9億1,943万円	2.6%	1万4,081円 （1万4,218円）
農林水産業費 （農業、林業、水産業振興のために） 	3億8,063万円	1.1%	5,829円 （7,520円）
その他の行政費 （議会運営や基金積立等のために） 	4億99万円	1.1%	6,141円 （5,805円）
合計（※1）	344億8,900万円	100%	52万8,202円 （50万9,347円）

○ 市民1人あたりの借金残高、貯金残高は次のとおりです。

区分	令和3年度末残高見込み		市民1人あたりの残高（※2）
全会計の借金残高	757億7,912万円		116万565円
うち一般会計の借金残高	396億9,046万円		60万7,864円
うち臨時財政対策債（※3）の残高	142億8,109万円		21万8,716円
全会計の基金残高	52億3,404万円		8万160円
うち一般会計の基金残高	34億546万円		5万2,155円

※1 一万円未満を四捨五入しているため合計が合わない場合があります。

※2 令和3年度予算、令和3年度末残高を、令和3年1月1日の住民基本台帳に基づく人口（65,295人）で割って算出しています。（ ）は令和2年度の数値です。

※3 臨時財政対策債は後年度の返済額の全額が、国から交付税措置されます。

7. 「家計簿」に例えると？

○ 一般会計の予算（344億8,900万円）を年収552万円（1月あたり46万円）の家計に置き換えています。

※厚生労働省実施の「2019年国民生活基礎調査」による全国の世帯平均所得が552万3,000円であることから端数を整理して、552万円の家計に置き換えています。



【加賀家 1ヵ月の家計簿】

《 収 入 》		《 支 出 》	
給与 (市税)	10万2,427円 (12万6,051円)	食費 (人件費)	6万8,830円 (6万8,903円)
諸手当 (地方交付税、国県補助金等)	23万7,715円 (23万1,981円)	家族の医療費・教育費 (扶助費)	8万9,238円 (9万2,495円)
パート収入 (使用料・手数料等)	2万1,015円 (1万5,144円)	ローンの返済 (公債費)	6万7,404円 (6万5,246円)
貯金の取崩し (繰入金)	2万5,171円 (1万9,779円)	子どもへの仕送り (繰出金、投資・出資金)	7万1,473円 (6万9,710円)
銀行からの借入 (市債)	7万3,672円 (6万7,045円)	光熱水費や通信費など (物件費、補助費等)	9万3,216円 (9万253円)
		家・車・電化製品の修理、買い換え (維持補修費、普通建設事業費)	6万7,254円 (7万1,000円)
		親戚へ貸すお金 (貸付金)	1,417円 (1,456円)
		貯金 (積立金、予備費)	1,168円 (937円)
計	46万円 (46万円)	計	46万円 (46万円)

() 内は令和2年度の数値です。

○ 一般会計予算を年収552万円の家計に置き換えた場合の令和3年度末の借金残高、貯金残高（見込み）

全会計の借金残高	1,212万8,526円	全会計の貯金残高	83万7,714円
うち一般会計の借金残高	635万2,499円	うち一般会計の貯金残高	54万5,048円
うち臨時財政対策債(※)の残高	228万5,703円		

※ 臨時財政対策債は後年度の返済額の全額が、国から交付税措置されます。

見てわかる
令和 3 年度
加賀市当初予算のあらまし

作成：令和 3 年 4 月

編集：加賀市総務部財政課財政グループ

（〒922-8622 石川県加賀市大聖寺南町二 41 番地）

TEL：0761-72-7805

E-mail：zaiseikakari@city.kaga.lg.jp

HP: <http://www.city.kaga.ishikawa.jp/>